

# 公民館同好会

## 押し花同好会

講師：笹木芳恵さん  
会長：井上信子さん

「え！これ、押し花なの！」…「すごいね、まるで絵画みたい！！！」…「素敵な作品だね」…先月開催した、第30回赤平市公民館祭りの“押し花展示コーナー”での多くの鑑賞者の会話です。今月はその「押し花同好会」を訪問いたしました。

赤平市公民館の第二研修室では、17名の会員が所狭しと、講師の笹木芳恵先生を取り囲むように、先生の手を見ています。「木の葉は、ここに置くと全体的にバランスが落ち着きますよ。そして、この花びらはこの向きでここに」と、台紙の上に色とりどりの押し葉、押し花が配置され、森の背景画が完成まじかです。この作品が、全て押し花だけでできているとは、とても驚きです。また、色々な植物も押し花に出来るそうで、自らが乾燥した素材で思い思いの作品作りも楽しい

そうです。額装された作品は、とても清楚でエレガント、その色彩は洋風の部屋にとっても似合いそうです。

すばらしい自然の素材を暮らしの中で楽しめる押し花クラフト。一度体験すると、それぞれの創る楽しみ、出来上がった作品を鑑賞するうれしさ、会員同士で作品について話し合ったりと楽しい仲間作り。毎月第二・第三水曜日赤平市公民館第研修室で午後6時から活動しています。年1回の公民館祭りのでの作品発表で、多くの市民に見てもらえるのを楽しみに作品作りに励んでいます。興味のある方、随時入会できます。

【取材・文：S】



\*引き続き公民館で活動中の各同好会の活動の状況などをご紹介します。尚、掲載された同好会へのお問い合わせは、“赤平市公民館”まで直接お願いいたします。

# ☆ きらきら ひかる

私たちのまちの“きらきらさん”を募集しています。

## 「若者の視点でまちづくりを」 植村真美さん

植村真美さんは、植村建設に勤務している赤平っ子です。高校卒業後、美唄の短大に進学。その後、名古屋の大学に編入学し、大学院を修了して、3年前に故郷の赤平に帰ってきました。

学生時代は、土木科で特に「都市計画」や「環境工学」という分野が好きで学問に励んでいたそうです。簡単に言えば、“まちを良くするための学問”「自然に自分の行動がそのようになる」と本人はおっしゃっています。

その言葉のとおり、植村さんは、様々な団体やサークルに所属しながら、赤平のまちづくりや赤平を活気づけるような取り組みの主要メンバーとして頑張っています。まず、赤平バイパスなどをテーマに赤平のまちづくりを考える「赤平屋」という団体に所属。その他には、JC、ローターアクト。笑いでまちを明るくしようというWa-ha-ha〜お笑い広場など、様々です。ご本人が言うようにお話を伺っていても、ものすごく“自然”でいながらも、情熱に満ち溢れている方だと再確認しました。(中学生時代から変わっていない…。)

また、本業のほうでは、“土木工事現場のネットワークの構築”に力を入れているそうです。ホームページの作成はもちろんのこと、将来は、土木工事会社(現場)と地域の人がふれあうことの出来るネットワークをつくりたいと意気込んでいらっしゃいました。工事は、私達の生活圏でも多く行われます。その工事が、より身近で、地域住民もより安心して工事を見守れることを目指しているのでしょう。

赤平には、たくさんの若者達があります。その若者達は若者達なりに、赤平のことを考えているのだとわかりました。若者のみならず、赤平で活動している様々な団体が必要によっては手を携えて、活動することにより、何十倍ものパワーに変わっていくものだと思います。私も、このNPOの活動に参加していますが、今後は様々なみなさんとの協力協働が必要だと感じましたし、支援センターがその中核基地になることを願っています。植村さんのような“自然”な方に再会して、頑張る勇気とエネルギーを蓄えることができたような気がします。植村さん、ありがとうございました。共にごがんばりましょうね。

【取材・文：H】